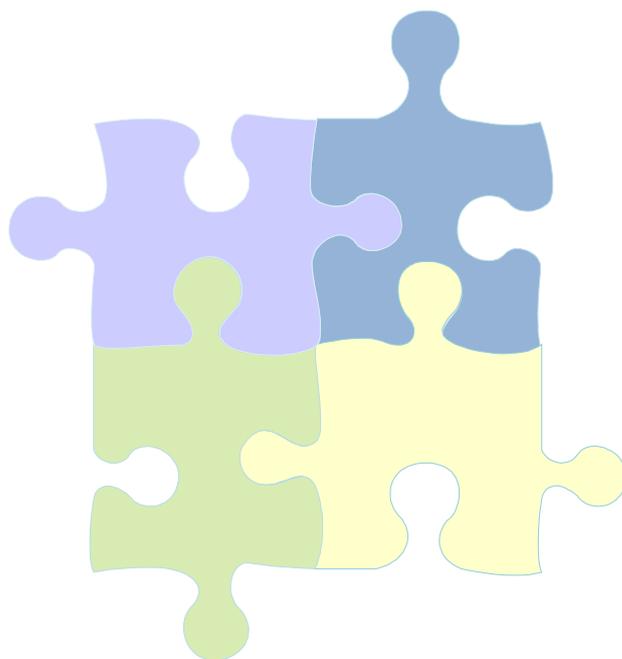


令和4年度 愛知県立大学 学術研究情報センター

長久手キャンパス図書館・守山キャンパス図書館

事業報告

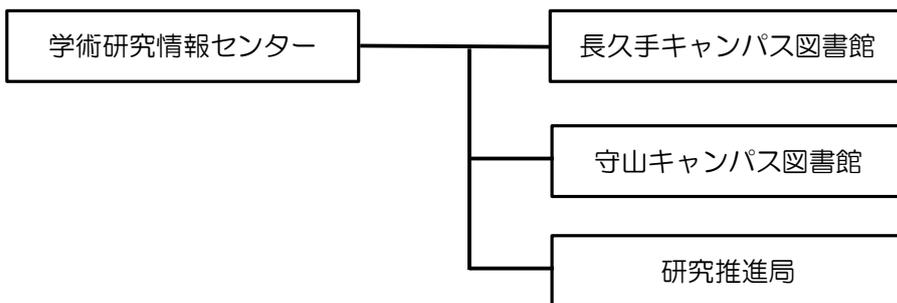


令和5年6月

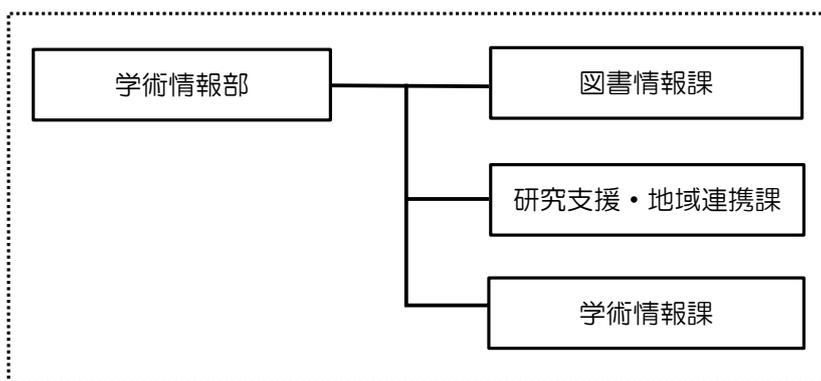
目次

1.	組織図	p. 1
2.	長久手キャンパス図書館、守山キャンパス図書館について	p. 2
3.	事業動向と課題		
1)	全般	p. 2
2)	長久手キャンパス図書館	p. 2
3)	守山キャンパス図書館	p. 5
4.	統計(集計期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日)		
1)	受入・蔵書統計	p. 7
2)	利用状況統計	p. 10
3)	広報活動実績	p. 15
4)	利用者教育実績	p. 16
5.	施設概要		
1)	施設	p. 17
2)	各スペースの概要	p. 18
6.	沿革	p. 20
7.	新型コロナウイルス感染症 関連の動向	p. 25

1. 組織図



(事務局)



本学の組織図より、関係分を抜粋したものである。

2. 長久手キャンパス図書館、守山キャンパス図書館について

本学の学術研究情報センターの施設の一つとして、本学学生・教職員の学習活動や教育研究活動を支援する目的のもと、図書・雑誌、視聴覚資料、電子ブック等の図書館資料を収集・管理し、利用に供する重要な役割を担っている。

長久手キャンパス図書館は一般教養・学部に関係する専門図書等を中心に約63万冊、守山キャンパス図書館は看護学を中心とする専門図書等約8万冊の蔵書を有している。

3. 事業動向と課題

1) 全般

4年度はこれまでのような厳しい行動制限を伴う措置が国や愛知県から発出されることはなかったが、それでもオミクロン株のBA.5系統を中心とする感染が急速に拡大した8月～9月には県下に「BA.5対策強化宣言」が出されるなど、新型コロナウイルス感染症には引き続き警戒しなければならなかった。それでも、本学では前期より授業形式はほぼ対面に戻ったことで、学生の来校機会、キャンパスへの滞在時間は増えた。10月には「新型コロナウイルス感染症に関する行動指針」の制限レベルが「レベル1(要注意)」に引き下げられるなど、徐々にキャンパスの日常を取り戻しつつあった1年と言える。

同様のことは長久手、守山両キャンパス図書館でも言える。両館とも前年度に引き続き感染防止対策を取りながら、開館時間の短縮、サービスの一部休止あるいは制限を継続したが、そうした制限も次第に緩和の方向へと進んだ(図書館における新型コロナウイルス感染症関連の動向はp25-27を参照)。4年度の利用状況は、個別の統計ではばらつきがあるものの、全体的には着実に回復傾向を示した。学習活動及び教育研究活動を支援する場としての活気を取り戻しつつあった1年と言えよう。

2) 長久手キャンパス図書館

(1) 受入・蔵書統計

4年度の図書と製本雑誌を合わせた受入冊数は7,667冊、受入金額は27,392千円(千円未満は百の位を四捨五入。以下同じ)で、3年度(6,898冊/25,445千円)と比較してそれぞれ11.1%増、7.7%増であった(パーセントは小数点第2位を四捨五入。以下同じ)。

購入図書のみ受入冊数は3,986冊、受入金額は16,539千円でそれぞれ前年度(3,872冊/16,992千円)比でそれぞれ2.9%増、2.7%減であった。費目別で大きな割合を占める学生図書購入費と教員研究費を見ていくと、学生図書購入費分の受入冊数が2,632冊、受入金額は8,947千円で、前年度(2,354冊/8,509千円)よりそれぞれ11.8%増、5.1%増となった。令和に入って以降冊数、金額とも減少が続いていたが今回はいずれも前年度より増加した。一見底を打ったようにも見えるが、学生図書購入費をめぐっては契約オンラインデータベースの高騰などにより依然として厳しい状況に置かれていることに変わりはなく、楽観はできない。

学生図書購入費分の中には司書職員が選書した図書のほか、学生からのリクエストにより購入したものも含んでいる。年度によって多少変動はあるが、その総額は約2,000千円(定価ベース)である。

教員研究費分の受入冊数は1,229冊、受入金額は7,143千円で、前年度(1,371冊/7,888千円)比でそれぞれ10.4%減、9.4%減と学生図書購入費分とは逆に減少した。引き続き各教員に対して図書登録への協力をお願いし、蔵書の充実を図りたい。

寄贈図書に目を移すと、4年度の受入冊数は3,249冊、受入金額は9,711千円で、前年度(2,588冊/7,300千円)比でそれぞれ25.5%増、33.0%増と大幅な増加となった。この寄贈分の大幅増が全体の受入冊数及び金額を押し上げたと言える。

寄贈分の大半は郵送・持込分が占めているが、本学後援会からの助成に依るところも大きい。4年度も図書館資料整備費として2,000千円(前年度と同額)の助成があり、図書629冊、視聴覚資料40点、計669点を受入した。後援会から継続的な助成があることは、当館にとって非常に大きな支援となっている。

電子ブックはコロナ禍を契機に継続的に受入を進めている。4年度は学生図書購入費で204点、618千円分を購入し、累計でも700点を超えた。今後も電子ブックを継続的に受入れ、充実を図りたい。

(2) 利用状況統計

ア. 入館者数・貸出状況

4年度の入館者数は111,138人(487人/日)で、3年度の70,791人(310人/日)との比でどちらも57%増となった。すでに述べたが、前期より授業がほぼ対面となり、学生の来校機会やキャンパスへの滞在時間が増えたこと、図書館における感染拡大防止対策としての利用制限が徐々に緩和されていったこと、そして10月以降は本学の「新型コロナウイルス感染症に関する行動指針」の制限レベルが「レベル1(要注意)」に引き下げられたこともあり、最終的に通年での入館者数は3年度ぶりに10万人を超え、定期試験前や卒論提出直前の時期には、一日の入館者数が900人を超えた日もあった。コロナ前の元年度の入館者数186,405人(896人/日)との比較ではそれぞれ59.6%、54.4%でどちらも6割に達しなかったが、着実に学生が図書館に戻ってきていることを示しているものと言えよう。

貸出状況については、貸出者数が22,361人、貸出冊数が56,687冊で、こちらは3年度(19,599人/57,506冊)との比でそれぞれ14.1%増と1.4%減になり、増減が分かれた。これは後述する教職員の貸出冊数の減少が影響したものである。なお、元年度との比較(31,291人/77,657冊)では、それぞれ71.5%、73.0%であった。

学生の貸出状況を見ると、貸出人数が20,285人、冊数は41,828冊で、3年度との比較(17,566人/41,620冊)との比較ではそれぞれ15.5%増、0.5%増、元年度との比較(28,854人/61,470冊)ではそれぞれ70.3%、68.0%であった。また学生1人あたりの年間貸出冊数は13.6冊で、3年度(13.7冊)とほぼ変わらなかった。

教職員の貸出は貸出者数が1,869人、冊数は14,415冊で、3年度(1,876人/15,572冊)からそれぞれ0.4%減、7.4%減と再び減少に転じた。

卒業生・修了生及び学外者(県民公開)の来館利用はコロナ禍の期間中休止していたが、10月に本学の制限レベル引き下げと合わせ、約2年半ぶりに再開した。再開から半年間で両利用者(登録利用者のみ)の入館者数は134人、貸出人数と冊数はそれぞれ75人、201冊であった。元年度の入館者数(945人)及び貸出人数/冊数(314人/909冊)と比べるとまだ2割前後の数字である。

イ. 予約、OPACアクセス件数

4年度の予約件数(守山キャンパス図書館との相互利用含む)は944件で、3年度(4,079件)の4分の1弱と大幅に減少した。コロナ期間中の便宜的措置として実施していた未貸出図書への予約サービスを3年度末で終了したことが件数減の大きな理由であるが、コロナ前の元年度の件数(1,685件)と比較しても6割弱にとどまった。

OPACアクセス件数は学内・学外合わせて360,984件で、3年度(379,034件)から4.8%の小幅減であった。

ウ. 館内施設の利用

2階パソコン室の利用人数は11,247人で、3年度(10,395人)から8.2%増えたものの、元年度(40,733人)の依然3割弱にとどまり、入館者数の着実な回復とは対照的であった。コロナにより授業形態が変化したことなどから、パソコン室の利用状況にも影響が出ていると思われる。

グループ学習コーナーは引き続きグループ学習席には感染拡大防止のためアクリル板を設置したものの、4月より利用できる座席数を増やし、ほぼ通常通りの利用ができるようになった。4年度の利用人数は24,525人でコロナ前の元年度(42,642人)の6割弱であった。

10月からは、研究個室については3室全てを、グループ研究室は2室とも定員の半数を上限とする制限付きながら利用を再開した。4年度の利用件数は研究個室が81件、グループ研究室が78件であった。全室の再開から半年ということもあり、元年度の件数(203件と398件)と比べるとそれぞれ4割弱と2割弱である。

このほかAVコーナーでは4月より通常通り2人までの利用を可としたなど、全体的には館内施設の利用制限の緩和を進め、ほぼコロナ前の状況に戻っていったが、フレンズブースについては感染拡大防止の観点から残念ながら年度内での利用再開を見送った。

エ. 有料データベース

守山分も含めた4年度の検索数は170,519件、ダウンロード数は45,307件で、いずれも前年度(229,271件/53,578件)比で25.6%減、15.4%減となった。なおデータベースによってはシステムの仕様上件数がカウントされない、またはダウンロード機能自体ないものがあるので、契約しているすべてのデータベースの利用状況を反映したものではない。

長久手分では、辞書・辞典のデータベースであるJapanKnowledge+の検索数が前年度から大幅に減少した。これは提供元がコロナ禍の期間中に臨時的に学外アクセスを可能としていた措置を終了したことが影響している。それでも長久手分のみでは検索数全体の6割を占めており、主要なデータベースであることには変わりがない。そのほかのデータベースの利用件数は、大宅壮一文庫、EBSCOhost(MLA, PsycInfo)とも前年度から増加、朝日新聞クロスサーチは検索数はやや減少したものの、ダウンロード数は大幅増となった。

キャンパス共通分ではScienceDirectやCambridge Coreの利用件数が伸びた一方で、Factivaの利用件数が大きく減少した。データベースについては、後述する情報探索講座や講習会、また日頃の利用者対応の中で、その有用性を学生や教職員に伝えていくことで利用の増加に繋がっていきたい。

オ. 機関リポジトリ

本学リポジトリのコンテンツ登録件数(本文ありのみ)は、令和5年3月末現在で3,970件となった。内訳は紀要論文2,433件で最も多く、全体の6割強を占めている。その他博士論文41件、卒業論文・修士論文の要旨602件、その他894件である。

令和4年度は新たに219件の登録を行なった。前年度より登録件数が約3分の2に減少しているが、これは一部紀要の登録が前倒しで行われたことと、本学の研究所の再編にともない、研究所紀要の発行終了が相次いだことによる。機関リポジトリは本学の学術成果を発信する場であり、今後も学内から多くのコンテンツの収集し、充実を図りたい。

利用状況は、本文閲覧(ダウンロード)件数が380,376件で前年度(392,532件)より減少した一方、アクセス件数は1,426,640件で、前年度(1,287,916件)から増加した。

カ. 図書館相互協力(ILL : Inter Library Loan)

4年度は相互貸借が582件(借受336件、貸出246件)、文献複写が969件(依頼716件、受付253件)で、いずれの件数も前年度を下回る結果となった。各大学・研究機関の機関リポジトリやデータベース等を通じて資料の本文を入手できる機会は増えているが、相互協力を通じてで入手可能な資料も依然として多く、その果たす役割は依然として大きい。件数の動向には今後も注視していくとともに、後述の利用者向け講座や日頃の利用者対応を通じて、当館に所蔵が無い資料の入手について適切な案内をしていきたい。

(3) 広報活動実績

ア. オープンキャンパス

4年度もオープンキャンパスは全面WEB開催となったため、来場者向けの図書館ツアー等、図書館独自の企画は行わなかった。

イ. 企画展示等

企画展示は5月の「大学での学びの方法2022」を皮切りに5回開催した。夏季には教職員より紹介文付きで推薦していただいた図書の展示を、また今回で12回目となる貴重書展では、高校の教科書に掲載されている古典作品に着目し、当館所蔵の「土佐日記」、「奥の細道」など14点の貴重書を紹介した。このほか、児童虐待防止推進月間(オレンジリボン推進月間)に

合わせて関連する資料を紹介する展示を行ったり、本学で開催した学術講演会と連携した展示を行うなど、様々なテーマで展示を企画し、利用者の関心を集めた。

この他、職員がおすすめる図書を毎月紹介する「新・今月の5冊」では、職員独自の切り口から計60冊の図書を紹介、展示した。

(4)利用者教育実績

4年度の図書館オリエンテーションは、前年度と同様、テキスト資料と動画での提供と対面式(クラス単位または自由参加)を併用する方式で実施した。対面式でのオリエンテーションは前期・後期あわせて19回開催、参加人数は347人で前年度(309人)より12.3%増えた。

情報探索講座は、初級「レポート資料の探し方講座」及び上級「データベースの活用講座」とも図書館オリエンテーションと同様、テキスト資料と動画での提供のほか、初級のみ対面式(クラス単位のみ)でも実施した。対面式での情報探索講座(初級)は前期・後期合わせて12回開催、参加人数は264人で前年度(73人)の3.6倍であった。

この他、コロナ禍で実施を見送ってきたデータベース活用講座を11月にオンライン形式で実施した。

利用者教育の実施については、引き続きHPを通じてテキスト資料や動画を提供するとともに、希望に応じて対面での講座形式でも開催していく。提供する資料については、情報が陳腐化しないよう、定期的に見直しを行っていきたい。

(5)その他

ア. 学生ボランティア活動

学生による図書館ボランティア活動は新型コロナウイルス感染症の影響で長く休止状態にあったが、4月より活動を再開した。当初は4年生のみの7名からの再開であったが、徐々に加入者が増え年度末時点で14名の学生が活動に参加した。

ボランティアメンバー発案の資料展示を3回開催したほか、活動休止前から行っていた「今週の逸冊」では28冊の図書を紹介した。また12月にはメンバーが案内役となる書庫探検ツアーを実施し、22名の学生の参加があった。このほか図書館1階にボランティア活動用のコーナーを新たに設置し、イベントの広報、資料展示の他、図書館利用促進のためのコラムの掲載を行った。

イ. 五大学共同図書環

「五大学共同図書環」は、本学のほか、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学の五大学図書館の連携活動である。4年度は名古屋外国語大学が当番校であった。令和5年3月に五大学共同図書環会議がオンライン形式で開催され、各館の活動報告の他、大学・大学図書館に関する話題について情報交換を行った。五大学間での交流イベントや研修は前年度に引き続き実施しなかった。

3)守山キャンパス図書館

(1)受入・蔵書統計

4年度の図書の受入点数・金額は885冊・3,370千円で、3年度の863冊・3,371千円とほぼ同様であった。このうち購入図書の受入点数・金額は826冊・3,211千円(3年度は817冊・3,235千円)であった。平均単価は3,887円で、3年度の3,959円から微減となった。

製本雑誌については67冊を受け入れた一方、内容が古く資料価値を失った204冊を除却した。

図書と製本雑誌を合わせた4年度末現在の蔵書冊数は、81,511冊となっている。

非来館者サービス充実の一貫として、電子ブックを平成28年度から継続して購入している。4年度は11点を購入し、累計で241点となった。

(2) 利用状況統計

ア. 入館者数・貸出統計

4年度の入館者数は11,189人(49.7人/日)で、3年度の7,820人(35.1人/日)の約1.4倍であり着実に回復しているものの、コロナ前である元年度の25,115人の約45%に留まっている。

2年度に行ったような臨時休館はなかったものの、閲覧席の間引き(93席を34席に。通年実施)や卒業生・学外者の利用中止(10月まで)といった利用制限が影響したものと考えられる。

貸出人数・冊数については、2,271人・5,252冊といずれも前年度(2,523人・6,275冊)を下回っており、回復傾向を示す入館者数とは異なる傾向となっている。

イ. 図書館相互協力

4年度は相互貸借が29件(貸出18件、借受11件)、文献複写が857件(依頼551件、受付306件)で、相互貸借の借受以外は前年度を下回った。

他館への文献複写依頼件数は551件で、3年度の706件から約22%の減少であった。教職員の減少幅が大きい(3年度469件→4年度277件)一方、学部生は2倍以上に増加(3年度50件→4年度117件)している。

ウ. 有料データベース

4年度の「医中誌Web」の検索回数は44,284回で、3年度の57,869回から約23%の減少であった。3年度の利用が突出して多かったことが影響しており、2年度(31,622回)との比較では約40%の増加であった。

その他のデータベースはいずれも前年度より減少した。減少幅は「最新看護索引」(ログイン回数)が約42%、「メディカルオンライン」(ダウンロード回数)が約37%、「CINAHL Plus with Full text」が約36%であった。データベースの有用性や効果的な検索方法などを訴求する試みを実施することにより、利用の増加を図りたい。

(3) 利用者教育実績

ア. ガイダンス

4月上旬に、在学生及び大学院生を対象に図書館の利用方法を説明するガイダンスを実施した。また、新任教員を対象としたガイダンスも同期時に実施した。

新入生を対象としたガイダンスは、守山キャンパスでの受講が本格化するタイミングに合わせ9月下旬に実施した。

各種データベースの使い方を解説するクイックガイダンス(所要時間30分程度)については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面での開催を断念し図書館ウェブサイトへの資料掲載に留めた。

イ. 講習会・講義

学部3年生を対象に学習に役立つ文献検索方法や各種データベースの活用方法などを解説する「文献検索講義」のための資料を作成し、教員に提供した。この講義は「看護研究概論」の1コマとして行うもので、3年度までは図書館職員が講師を務めていたが、4年度については急遽開催時期が早まった(7月から4月に変更)ため教員への資料提供に留めた。

(4) その他

ア. 学習環境の整備

4年度は、新型コロナウイルス対策として行ってきた利用制限を徐々に緩和する1年であった。具体的には、(1)4月、閲覧席の利用を申込制から自由利用制に変更。(2)11月、グループ研究室の利用及び学外者の利用を再開。

従前から実施していた以下の対策は年度を通じて継続した。(1)換気のため、排煙窓を開放するとともに大型扇風機3台及び小型サーキュレータ9台を運転。(2)閲覧席の間引き(93席→34席)。(3)カウンターに飛沫防止シート設置。

4. 統計(集計期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1) 令和4年度 受入・蔵書統計

(1) 受入資料点数
(長久手)

受入区分		和書		洋書		合計	
		点数	金額	点数	金額	点数	金額
図書	購入	3,611	13,014,052	375	3,524,769	3,986	16,538,821
	寄贈	1,305	3,580,453	1,944	6,130,204	3,249	9,710,657
	その他(※1)	0	0	0	0	0	0
	小計	4,916	16,594,505	2,319	9,654,973	7,235	26,249,478
製本雑誌		316	820,336	116	322,520	432	1,142,856
視聴覚資料	購入	14	88,897	7	30,429	21	119,326
	寄贈	41	170,894	4	18,681	45	189,575
	その他(※1)	0	0	0	0	0	0
	小計	55	259,791	11	49,110	66	308,901
電子ブック	購入	11	57,740	193	560,230	204	617,970
	寄贈	0	0	0	0	0	0
	小計	11	57,740	193	560,230	204	617,970

(※1)学内刊行物など
(守山)

受入区分		和書		洋書		合計	
		点数	金額	点数	金額	点数	金額
図書	購入	826	3,210,791	0	0	826	3,210,791
	寄贈	51	123,159	8	35,925	59	159,084
	その他(※2)	0	0	0	0	0	0
	編入(※3)	0	0	0	0	0	0
	小計	877	3,333,950	8	35,925	885	3,369,875
製本雑誌		55	142,175	12	31,020	67	173,195
視聴覚資料	購入					21	597,960
	寄贈					15	475,200
	編入(※3)					0	0
	小計					36	1,073,160
電子ブック	購入	11	372,680	0	0	11	372,680
	寄贈	0	0	0	0	0	0
	編入(※3)	0	0	0	0	0	0
	小計	11	372,680	0	0	11	372,680

(※2)その他は、看護実践センター費など (※3)編入は、図書館保管となった研究費図書・視聴覚資料

(2) 受入資料の分類別整理冊数
(長久手)

	図書			雑誌(※4)			計			比率
	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	和書	洋書	小計	
0 総記	493	32	525	68	28	96	561	60	621	8.1%
1 哲学	321	89	410	22	11	33	343	100	443	5.8%
2 歴史	803	408	1,211	36	21	57	839	429	1,268	16.5%
3 社会科学	1,410	313	1,723	129	32	161	1,539	345	1,884	24.6%
4 自然科学	288	11	299	16	1	17	304	12	316	4.1%
5 工学	154	18	172	5	0	5	159	18	177	2.3%
6 産業	104	45	149	1	0	1	105	45	150	2.0%
7 芸術	232	61	293	21	1	22	253	62	315	4.1%
8 語学	277	78	355	19	14	33	296	92	388	5.1%
9 文学	790	229	1,019	42	8	50	832	237	1,069	13.9%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
未整理図書	1	1,035	1,036	0	0	0	1	1,035	1,036	13.5%
計	4,873	2,319	7,192	359	116	475	5,232	2,435	7,667	100.0%

(※4)製本雑誌および図書として受け入れ雑誌として整理したもの

(守山)

	和書	洋書	合計
0 総記	0	0	0
1 哲学	3	0	3
2 歴史	0	0	0
3 社会科学	26	0	26
4 自然科学	4	0	4
5 工学	0	0	0
6 産業	0	0	0
7 芸術	3	0	3
8 語学	0	0	0
9 文学	1	0	1
専門基礎科目 49 医学	571	5	576
専門科目 N 看護学	269	3	272
需用費図書(※5)	0	0	0
未整理図書	0	0	0
合計	877	8	885

(3) 受入雑誌種数(長久手)

	和雑誌	洋雑誌	合計
購入	268	79	347
寄贈	1,039	1	1,040
その他	17	0	17
合計	1,324	80	1,404

(守山)

	和雑誌	洋雑誌	合計
購入	60	11	71
寄贈	74	1	75
その他	0	0	0
合計	134	12	146

(※5)消耗品の研究費図書で図書館保管となったもの

(4)資料形態別受入点数

図書(長久手)

		冊数	金額(円)
購入	学生図書購入費	2,632	8,946,563
	教員研究費	1,229	7,142,598
	学生教育経費	125	449,660
	その他経費	0	0
	小計	3,986	16,538,821
移管		0	0
寄贈	科研費(直接経費)	132	132
	旧消耗品	78	78
	後援会	629	1,829,988
	その他(郵送・持込等)	2,410	7,880,459
	小計	3,249	9,710,657
製作		0	0
受入計(A)		7,235	26,249,478
除却(B)		285	693,068
差引計(A-B)		6,950	25,556,410

電子ブック(長久手)

		冊数	金額(円)
購入	学生図書購入費	204	617,970
	教員研究費	0	0
	小計	204	617,970

製本雑誌(長久手)

		冊数	金額(円)
製本費	学生図書購入費	103	267,388
	教員研究費	259	693,748
	学生教育経費	70	181,720
	その他経費	0	0
	小計	432	1,142,856
移管		0	0
合計		432	1,142,856

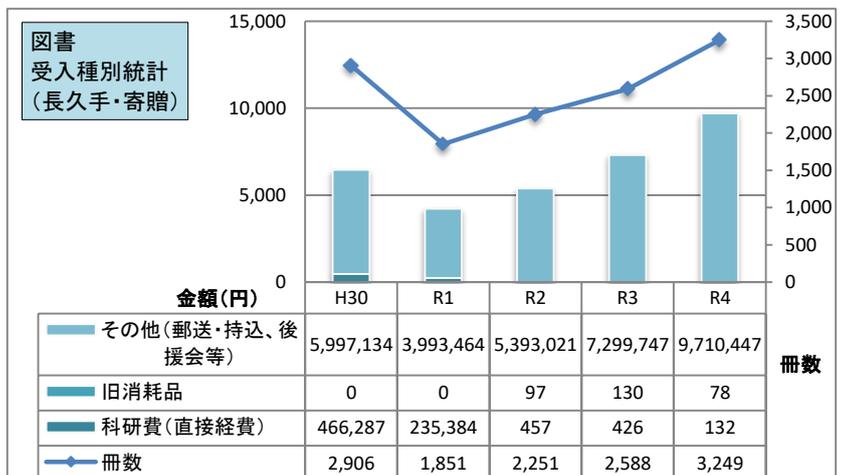
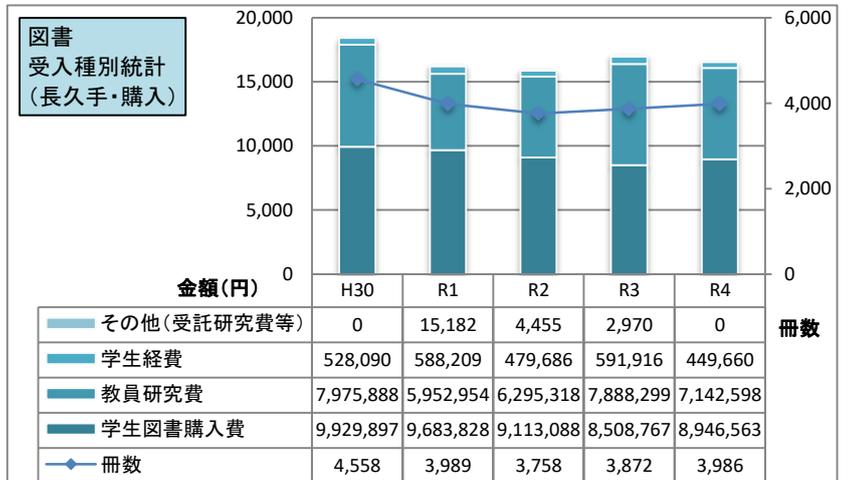
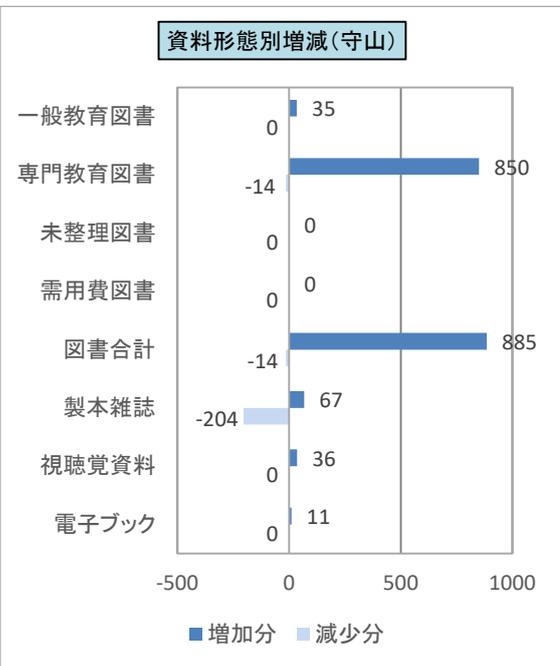
視聴覚資料(長久手)

		冊数	金額(円)
購入	学生図書購入費	2	6,106
	教員研究費	8	60,127
	学生教育経費	11	53,093
	その他経費	0	0
	小計	21	119,326
寄贈	後援会	40	169,575
	その他	5	20,000
小計		45	189,575
製作		0	0
受入計(A)		66	308,901
除却(B)		449	713,912
差引計(A-B)		-383	-405,011

(守山)

	増加分	減少分	差引計
一般教育図書	35	0	35
専門教育図書	850	-14	836
未整理図書	0	0	0
需用費図書	0	0	0
図書合計	885	-14	871
製本雑誌	67	-204	-137
視聴覚資料	36	0	36
電子ブック	11	0	11

※ 増加分には購入の他、寄贈・管理換え・編入を含む。
減少分は除却・編出。



(5)分類別蔵書冊数(令和5年3月31日現在)

図書(長久手)

	図書			雑誌(※)			計		
	和漢書	洋書	小計	和漢書	洋書	小計	和漢書	洋書	合計
0 総記	56,210	8,822	65,032	9,928	1,926	11,854	66,138	10,748	76,886
1 哲学	25,387	11,631	37,018	1,070	1,175	2,245	26,457	12,806	39,263
2 歴史	43,113	14,150	57,263	1,923	1,783	3,706	45,036	15,933	60,969
3 社会科学	104,919	30,560	135,479	10,475	4,103	14,578	115,394	34,663	150,057
4 自然科学	23,237	8,073	31,310	1,091	926	2,017	24,328	8,999	33,327
5 工学	7,751	2,204	9,955	1,151	333	1,484	8,902	2,537	11,439
6 産業	5,176	1,079	6,255	122	38	160	5,298	1,117	6,415
7 芸術	19,927	6,102	26,029	1,221	372	1,593	21,148	6,474	27,622
8 語学	25,853	38,335	64,188	1,644	1,653	3,297	27,497	39,988	67,485
9 文学	86,337	54,435	140,772	5,167	1,793	6,960	91,504	56,228	147,732
その他	1	0	1	0	0	0	1	0	1
計	397,911	175,391	573,302	33,792	14,102	47,894	431,703	189,493	621,196
教員利用中	5	1	6	—	—	—	5	1	6
整理中	1,327	1,105	2,432	—	—	—	1,327	1,105	2,432
合計	399,243	176,497	575,740	33,792	14,102	47,894	433,035	190,599	623,634
和洋の比率	69.3%	30.7%	100.0%	70.6%	29.4%	100.0%	69.4%	30.6%	100.0%
視聴覚資料									5,720
電子ブック							245	516	761

※ 製本雑誌および図書として受け入れ雑誌として整理したもの。

図書(守山)

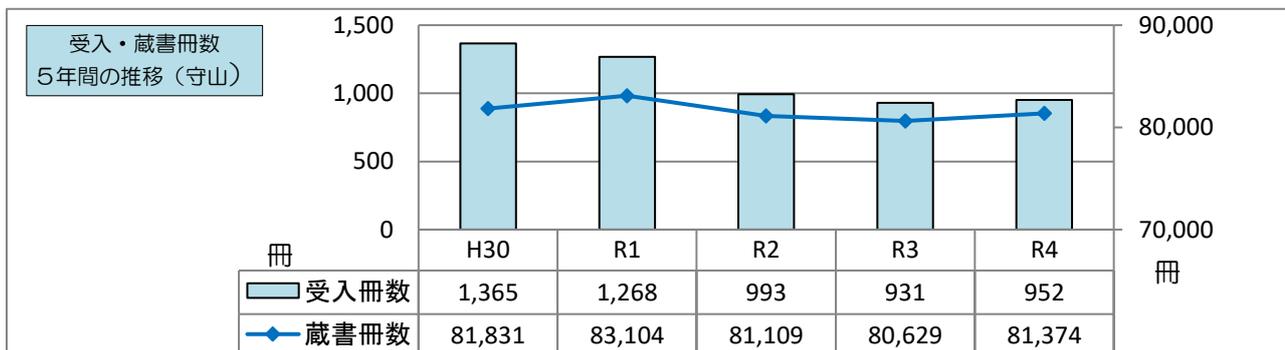
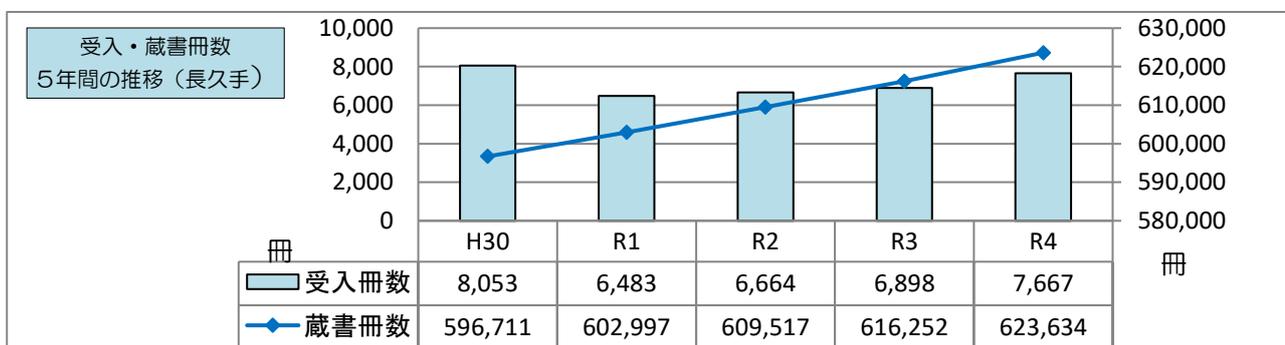
	図書		
	和書	洋書	合計
基礎科目 (一般教養)	7,801	5,412	13,213
専門科目 49 医学・N 看護学	44,059	6,726	50,785
需用費図書	10,403	32	10,435
整理中	0	0	0
合計	62,263	12,170	74,433
製本雑誌			6,941
視聴覚資料			1,662
電子ブック	241	0	241

雑誌(長久手)

(タイトル数)	和雑誌	洋雑誌	計	継続誌	非継続誌
	5,645	1,492	7,137	1,404	5,733

雑誌(守山)

(タイトル数)	和雑誌	洋雑誌	計	継続誌	非継続誌
	935	120	1,055	124	931



2) 利用状況統計

(1) 開館日数・入館者数・貸出状況

(長久手)

開館日数	昼間	うち夜間
令和4年度	228	0
前年度	228	0

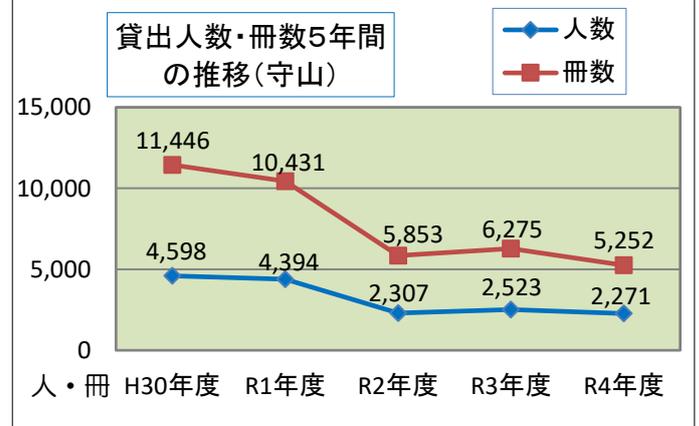
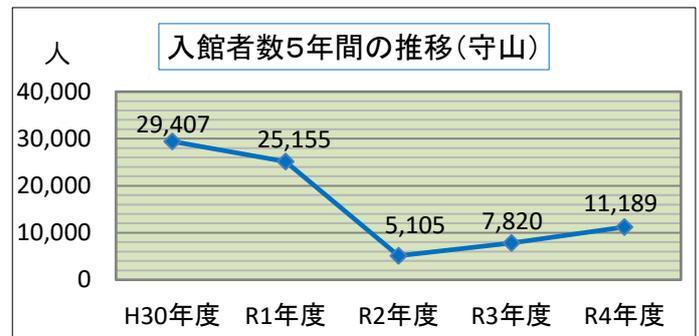
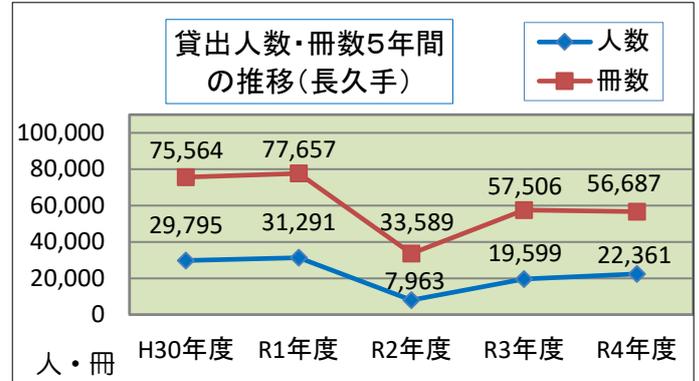
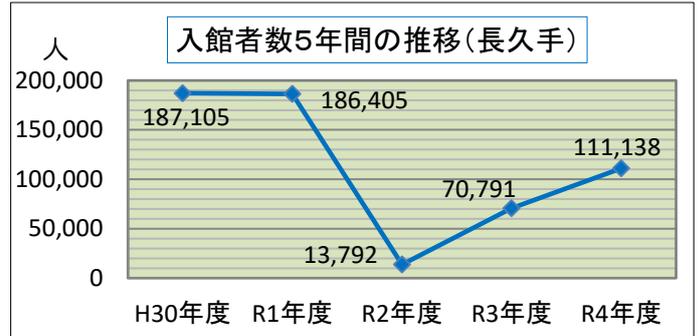
所属		入館者数	貸出人数	貸出冊数	
学生	学部生	外国語学部	53,779	8,717	18,390
		日本文化学部	28,926	6,497	12,812
		教育福祉学部	13,265	2,204	4,564
		看護学部	2,377	616	790
		情報科学部	4,655	865	1,251
		その他	645	127	290
		学部生計	103,647	19,026	38,097
	大学院	国際文化研究科	1,381	783	2,507
		人間発達学研究科	608	309	896
		看護学研究科	1	20	24
情報科学研究科		594	147	304	
大学院生計	2,706	1,259	3,731		
学生計	106,353	20,285	41,828		
教職員	4,577	1,869	14,415		
その他	学外	卒業生・修了生	28	12	37
		県民公開	106	63	164
		その他	74	132	243
	その他計	208	207	444	
合計	111,138	22,361	56,687		
1日平均	487	98	249		
前年度合計	70,791	19,599	57,506		

(守山)

開館日数	昼間	うち夜間
令和4年度	225	177
前年度	223	178

入館者数	総数	うち学外者
令和4年度	11,189	69
前年度	7,820	0

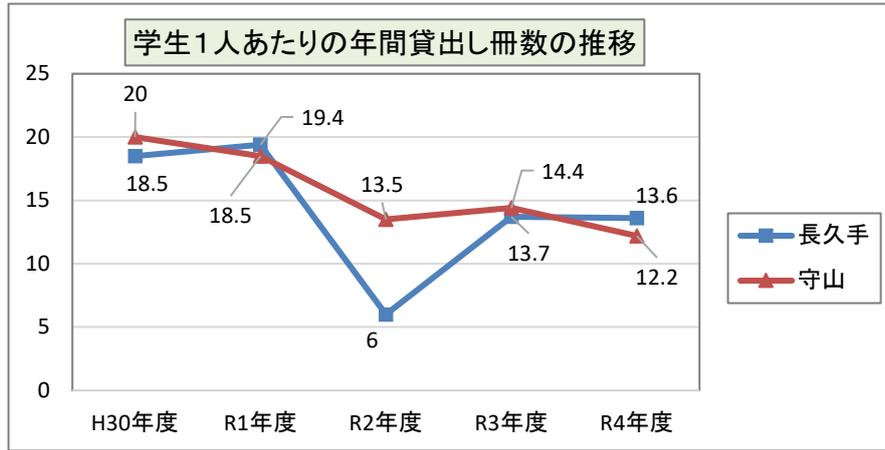
所属		貸出人数	貸出冊数
学生	学部生	942	2,109
	院生	718	1,713
	その他学生	44	101
	計	1,704	3,923
教職員	520	1,190	
学外	卒業生	12	41
	元教員	0	0
	その他	35	98
	計	47	139
合計	2,271	5,252	
一日平均	10	23	
前年度合計	2,523	6,275	



(2) 学生1人あたりの年間貸出冊数の推移

単位(冊)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
長久手	18.5	19.4	6.0	13.7	13.6
守山	20.0	18.5	13.5	14.4	12.2
合計	19.3	19.0	9.8	14.1	12.9



(3) 図書予約件数

	長久手	守山	学外者	合計
令和4年度	944	376	1	1,321
前年度	4,079	329	0	4,408

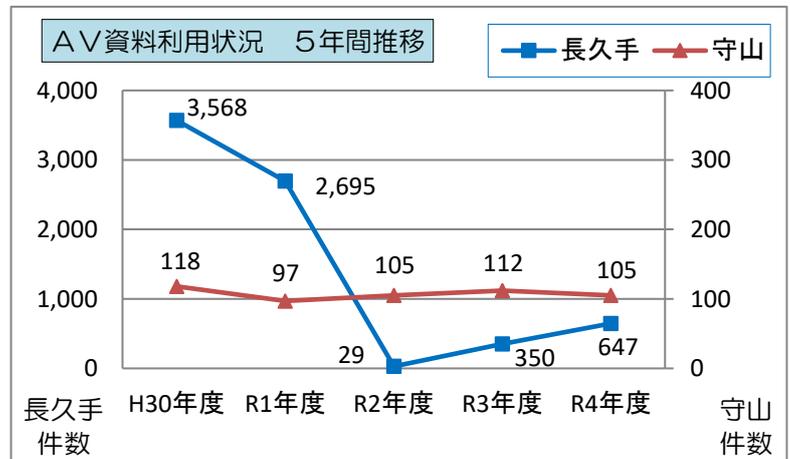
(4) 視聴覚資料利用件数

(長久手)

	AV資料	フレンズブース
令和4年度	647	0
前年度	350	0

(守山)

	AV資料
令和4年度	105
前年度	112



(5) OPACアクセス件数

	学内	学外	計
令和4年度	191,717	169,267	360,984
前年度	172,504	206,530	379,034

(6) グループ研究室等利用件数

(長久手)

	グループ研究室	研究個室
令和4年度	78	81
前年度	0	0

(守山)

	グループ研究室
令和4年度	1
前年度	0

(7) 学内文献複写枚数

	長久手 複写機	守山 複写機
令和4年度	36,641	13,835
前年度	33,938	13,618

(8)レファレンス業務件数

(長久手)

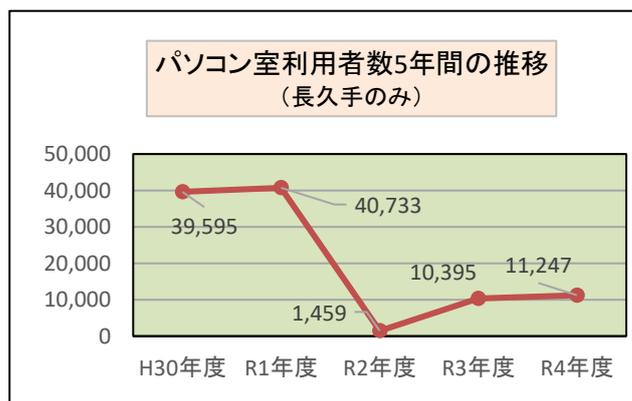
	利用者別				内容別				
	学内者		学外者	計	文献 所蔵調査	利用指導	事項調査	その他	計
	学生	教職員							
令和4年度	1,832	214	30	2,076	548	1,457	28	43	2,076
前年度	1,669	268	6	1,943	610	1,298	19	16	1,943

(守山)

	利用者別				内容別				
	学内者		学外者	計	文献 所蔵調査	利用指導	事項調査	その他	計
	学生	教職員							
令和4年度	556	134	39	729	341	253	135		729
前年度	635	218	0	853	370	318	165		853

(9)図書館見学者等の人数

	オープンキャンパス		その他見学者	
	長久手	守山	長久手	守山
令和4年度	0	150	40	34
前年度	0	0	0	24



(10)パソコン室利用統計(長久手のみ)

	学生
令和4年度	11,247
前年度	10,395

(11)愛知県立大学学術リポジトリ利用状況

ア.コンテンツ登録件数(本文ありのみ)

	平成25-29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	累計
紀要論文	1,799	122	134	143	140	95	2,433
博士論文	18	5	7	2	3	6	41
卒業論文・修士論文要旨	289	65	66	55	71	56	602
その他	432	92	86	110	112	62	894
合計	2,538	284	293	310	326	219	3,970

イ.アクセス件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
アクセス件数	885,245	1,066,194	1,259,160	1,287,916	1,426,640

ウ.本文閲覧(=ダウンロード)件数

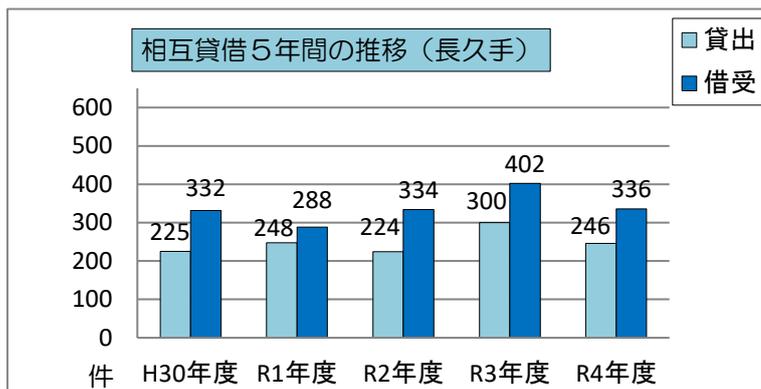
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
本文閲覧件数	626,280	560,818	357,185	392,532	380,376

(12) 図書館相互協力件数

ア. 相互貸借件数

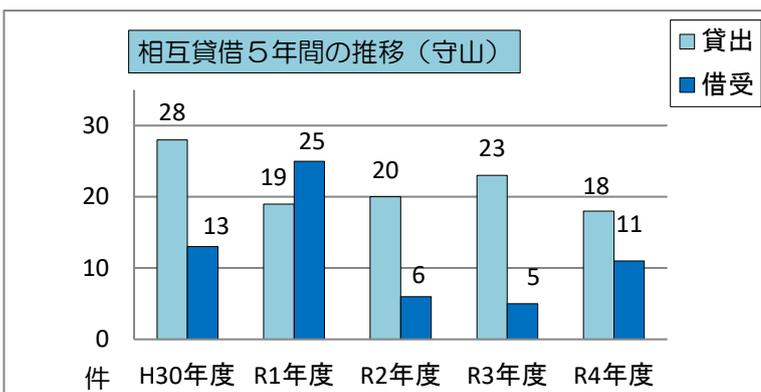
(長久手)

		貸出	借受
大学	国内	229	302
	国外	0	0
	計	229	302
その他	国内	10	34
	国外	0	0
	計	10	34
謝絶		7	0
合計		246	336
前年度		300	402



(守山)

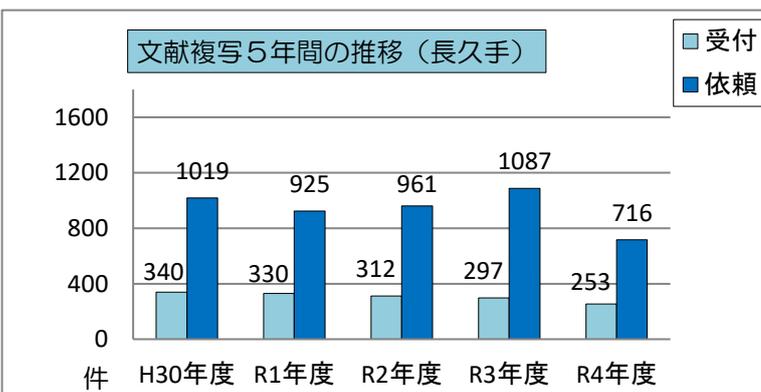
		貸出	借受
大学		14	11
その他		2	0
謝絶		2	0
合計		18	11
前年度		23	5



イ. 文献複写件数

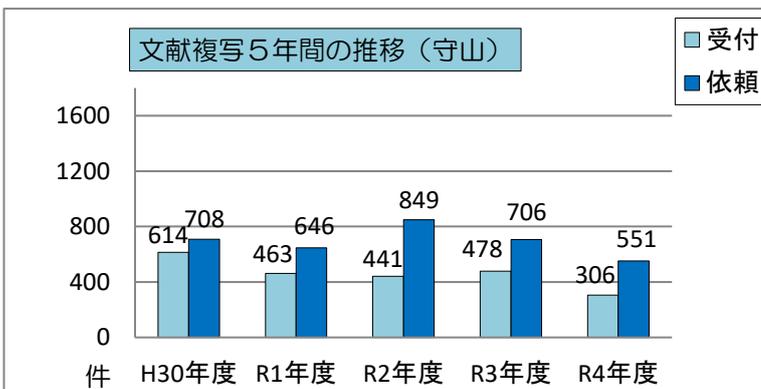
(長久手)

		依頼	受付
大学	国内	588	204
	国外	2	0
	計	590	204
その他	国内	123	10
	国外	0	0
	計	123	10
謝絶		3	39
合計		716	253
前年度		1,087	297



(守山)

		依頼	受付
大学		457	252
その他		86	37
謝絶		8	17
合計		551	306
前年度		706	478



ウ. 紹介状発行件数

	長久手		守山
	学生	教員等	
令和4年度	14	21	0
前年度	3	3	0

(13) 有料オンラインデータベースアクセス回数

キャンパス	データベース	検索数		ダウンロード数		
		令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	
長久手	朝日新聞クロスサーチ	15,855	17,779	21,248	13,056	
	JapanKnowledge+	39,738	96,650			
	大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索 (Web OYA-bunko)(注3)	153	114			
	(EBSCOhost) MLA International Bibliography	6,463	5,042			
	(EBSCOhost) APA PsycInfo	3,651	2,180			
	長久手 計	65,860	121,765	21,248	13,056	
守山	医中誌web	44,284	57,869	-	-	
	メディカルオンライン	-	-	13,026	20,703	
	(EBSCOhost) CINAHL Plus with Fulltext	1,881	2,954	389	414	
	最新看護索引Web(注3)(注4)	1,358	2,363	-	-	
	守山 計	47,523	63,186	13,415	21,117	
キャンパス共通	Factiva	-	-	4,701	13,541	
	IEEE	2,387	2,700	1,361	1,433	
	ScienceDirect(注5)	3,918	3,422	1,992	1,652	
	Cambridge Core (CUP)	-	-	822	662	
	EBSCOhost	Academic Search Elite	7,603	7,113	1,768	2,117
		その他データベース	43,228	31,085		
	キャンパス共通 計	57,136	44,320	10,644	19,405	
合計		170,519	229,271	45,307	53,578	

注1: / : ダウンロード機能がない - : システムの仕様上、カウントされない

注2: 有料オンラインデータベース契約件数は、長久手=5件(うち外国語2件)、守山=4件(うち外国語1件)、キャンパス共通=6件(うち外国語5件)である。

注3: ログイン数

注4: 令和4年度より検索数からログイン回数の集計に変更。前年度分もログイン数に数値変更。

注5: ScienceDirectのダウンロード件数は、平成29年度から集計開始。

3) 広報活動実績

(1) 印刷物発行実績

刊行頻度	印刷物名	主な内容
-	図書館案内パンフレット	長久手キャンパス図書館の概要
-	図書館案内リーフレット	守山キャンパス図書館の利用案内

(2) 展示・講演会等

日付	企画名	主な内容	備考
令和4年 5月9日(月)～ 6月15日(水)	「大学での学びの方法 2022 最初の一冊、どれにする」	大学生活や新学年がスタートし、少し慣れてきた頃に手に取ってほしい本を、4つのテーマ(学門の入口、考え方・学び方、読み方、生き方・働き方)および電子ブックに分けて展示した。	長久手
令和4年 7月7日(木)～ 9月8日(木)	「教職員おすすめの本 2022 感銘を受けた一冊」	長久手キャンパスの教職員に、今までに感銘を受けた本や印象に残る本から一冊を紹介文付きで推薦してもらい展示した。	長久手
令和4年 10月17日(金)～ 11月16日(水)	【展示】 「ナイチンゲール貴重書展「Notes on hospitals展」	本学所蔵の貴重書「Notes on hospitals」及び「Notes on nursing for the laboring classes」の2点を展示。併せてナイチンゲールの関連図書25冊を展示した。	守山
令和4年 10月19日(水)～ 11月9日(水)	第十二回 愛知県立大学所蔵貴重書展示 「教科書にのってたアレを読み直す」	本学が所蔵する貴重書の中から、誰もが知っている“高校教科書に掲載されている作品”をテーマに、掲載頻度の高い作品・場面を収録した資料を、実際に掲載されている教科書と共に展示した。	長久手
令和4年 11月4日(金)～ 11月30日(水)	「オレンジリボン運動 虐待を知るためのおすすめ図書」	11月の児童虐待防止推進月間(オレンジリボン運動月間)に合わせ、社会福祉学科村田ゼミの学生が、子ども虐待に関する図書及び映像資料を、紹介文を添えて展示した。	長久手
令和4年 11月14日(月)～ 12月14日(水)	学術講演会関連展示「「不安」から照らす「生」の諸相×鈴木了二——2022年の立原道造／建築の快樂」	12月3日(土)に地域連携センター事業として開催された鈴木了二氏(建築家、早稲田大学名誉教授・荣誉フェロー)の学術講演会との連携により、各分野の教員5名からなる「不安と生の研究会」が、講演会関連テーマのもと、研究成果を推薦図書と共に展示した。	長久手

4) 利用者教育実績

(※) 院生・科目等履修生・教職員・不明分など

長久手		参加者人数(所属学科別)						
日程・期間	内容	外国語	日本文化	教育福祉	看護	情報科	その他(※)	合計
4～7月	【新入生図書館オリエンテーション】 ・図書館の概要、利用方法などを解説する。 ・新入生、新入生クラス対象	159	55	92	0	0	0	306
4～7月	【情報探索講座(初級)「レポートの書き方」】 ・レポートの書き方と、そのための図書館の利用法(基本的なデータベースの使い方やILLについて)を解説する。	62	0	36	0	87	0	185
4～7月	【情報探索講座(上級)「データベースの活用講座」】(注1) ・各学部・学科ごとの専門的なデータベースの使い方や特徴を解説する。【データベース動画を案内】	0	0	0	0	0	0	0
10～12月	【新入生図書館オリエンテーション】 ・新入生クラス対象	41	0	0	0	0	0	41
10～12月	【情報探索講座(初級)「レポートの書き方」】 ・レポートの書き方と、そのための図書館の利用法(基本的なデータベースの使い方やILLについて)を解説する。	57	20	0	0	0	2	79
10～12月	【情報探索講座(上級)「データベースの活用講座」】(注1) ・各学部・学科ごとの専門的なデータベースの使い方や特徴を解説する。【データベース動画を案内】	0	0	0	0	0	0	0
合計		319	75	128	0	87	2	611

注1: 対面式で実施をしていないため、参加者数は0人となっている。

守山		参加者人数		
日程・期間	内容	学内	学外	合計
4月4日	図書館オリエンテーション(新任教員対象)	5	0	5
4月7日	図書館オリエンテーション(大学院新入生対象)	21	0	21
4月7日	図書館オリエンテーション(在校生対象)	268	0	268
5月12日	【文献検索講義】 看護研究概論(学部3年生)	94	0	94
9月30日	図書館オリエンテーション(学部1年生対象)	93	0	93
合計		481	0	481

【参考】前年度の参加人数は合計で575人であった。(オリエンテーション: 484人、利用者講習会: 91人)

5. 施設概要

1) 施設

(令和4年5月1日現在)

(1) 用途別面積 (単位: m²)

		長久手	守山
サービススペース	閲覧スペース	1,418	617
	視聴覚スペース	68	
	情報端末スペース	155	
	その他	252	
管理スペース	書庫	1,974	53
	事務スペース	385	81
その他		2,122	72
総延面積		6,374	823

(2) 閲覧座席数 (単位: 席)

	長久手	守山
総閲覧座席数	469	93

(3) 書架収容力

	長久手	守山	単位
(ア) 棚板延長	27,405	2,755	m
(イ) 収容可能冊数 (ア) ÷ 0.9 × 25	761,250	76,530	冊

2)各スペースの概要

(1)長久手キャンパス図書館

閲覧スペース	リベラルアーツ・コーナー	ソファー等でくつろいだ雰囲気で見られるよう配慮された空間に、教員推薦図書を始め比較的読みやすい教養書が配架されている。
	参考図書コーナー	学生の利便に配慮し、1階メインフロアの中央部に配置され、各国の百科事典をはじめ、言語辞典、専門事典、便覧、年鑑等、全学的に利用される基本参考図書を備えている。(閲覧席数69席)
	雑誌コーナー	主要学術雑誌の過去1年分を配架している。(閲覧席数6席)
	貴重書閲覧室	図書館所蔵貴重書の閲覧用の部屋として設置されている。(席数3席)
	開架閲覧室	学生の利用が多い資料を配架するとともに、窓側に閲覧席を配置して各分野の基本的学習用図書を自由に閲覧できるようにしている。(閲覧席202席)
視聴覚スペース	AVコーナー	図書館所蔵のBlu-ray、DVD、CD、ビデオ及びカセットテープ等のAV資料を視聴できるよう10のブースを設けている。(席数20席)また、「フレンズブース」として、Blu-ray DVD、ビデオを8人まで同時に視聴できる部屋を設けている。
	マイクロ資料閲覧室	図書館所蔵のマイクロ資料の閲覧、複写のための部屋で、マイクロフィルムリーダー(Micro SP3000コニカミノルタ製)1台、デジタルフィルムスキャナー(コニカミノルタSL1000)を1台設置している。(席数2席) ※マイクロフィルムリーダー1台は老朽化のため年度末に撤去し、拡大読書器を設置予定
情報端末スペース	情報探索コーナー	OPAC用端末を1階に8台、2階に4台設置、地下2層にそれぞれ1台ずつ設置し、蔵書検索及びインターネットの利用が、自由に行えるようにしている。 また、1階情報探索コーナーには、電子メディア閲覧用に2台のパソコンを設置している。
	パソコン(レポート・論文作成)室	パソコンが自由に利用できる部屋として平成22年度に閲覧室の一部を改修してパソコンを10台設置。平成23年度に8台追加、さらに平成24年度に24台追加し、計42台のパソコンが設置されている。名称も「レポート・論文作成室」に改称した。
その他	グループ研究室・研究個室	グループ研究室A・B(2階): 図書館資料を教材とした演習やグループ研究等が行えるよう、16席と20席のグループ研究室を用意している。(席数36席) Aには電子黒板を設置している。 研究個室A・B・C(2階): 院生、教員の調査・研究のために個室を3室設置している。(席数3席)
	グループ学習コーナー	可動式のテーブルや椅子、ホワイトボードを設置したラーニングcommons(席数45席)。オープンな雰囲気ですべて自由に話し合い、議論し、共に学び合う学習環境であると同時に、会話可能空間における個人学習にも対応している。
書庫	閉架書庫	2層の積層式書庫で、収納能力は開館時576,800冊である。 上層は、収納能力を高めるため電動集密書架を採用した。さらに、将来の資料の増加に対応するため、書架の増設を可能としている。下層は、固定式書架を採用。教職員、大学院生及び学部3・4年生の書庫内資料の閲覧の利便性のため、閲覧席23席(上層6席、下層17席)を配置している。 また、平成22年度から上下層に各1台ずつ検索用のOPAC端末を設置した。
	貴重書庫	貴重書を良好な環境で保存するため、室内を木張りにし、温度、湿度を一定化するように配慮されている。

(2) 守山キャンパス図書館

閲覧スペース	参考図書コーナー	1階フロアの中央部に配置され、医療、看護、保健を中心とした分野の参考図書、統計資料や参考図書を配架。
	雑誌コーナー	医療・看護・保健分野の学術雑誌(1年分)を、配架。
	学会誌コーナー	医療・看護・保健分野の学会誌を中心に配架。
	開架閲覧室	医療・看護・保健分野を中心とした図書を広く配架。隣接したエリアに閲覧席を配置。
	個人閲覧室	利用者の調査・研究のために、個室を2室設置。
視聴覚スペース	AVコーナー	図書館所蔵のDVD、CD等のAV資料を視聴できるよう2階に2ブース、1階に1ブースを設置。
情報端末スペース	情報探索コーナー	1階にPC5台、2階にPC4台を設置。蔵書検索、インターネット検索の利用に供している。
その他	グループ研究室	図書館資料を教材とした演習やグループ研究が行えるよう、グループ研究室が2階に2室ある。(席数各10席、8席) また、視聴覚教材を使用して研究ができるよう、室内には各1台、AV機器を設置している。
書庫	開架書庫	自由に閲覧できる開架書庫(集密書架)を2階に設置している。

6. 沿革

年	月	内容	キャンパス名
H21	4	愛知県立大学と愛知県立看護大学の統合により愛知県立大学となる	両キャンパス
	4	電子ジャーナル「Cambridge U.P.(CUP)」、「IEEECSDL」契約、利用開始	長久手
	10	オンラインデータベース「メディカルオンライン」契約、利用開始	守山
	10	「共同図書環(館)のネットワークシステムの構築と新たな教養教育プログラムの開発」の一環のネットワークシステム「Tosho Ring」運用開始	長久手
	11	オンラインデータベース「Web OYA-bunko(大宅壮一文庫雑誌記事索引検索Web版)」契約、利用開始	長久手
	12	長久手・守山両キャンパスでキャンパス間図書貸出サービス(試行)を開始	長久手
H22	1	参考書架複式3連増設	長久手
	3	長久手・守山両キャンパスで統合した新図書館システムの運用開始	両キャンパス
	3	入退館システムの更新	長久手
	4	Factiva、PsycINFO、EBSCO A to Zの契約、利用開始	長久手
	4	医中誌Webの同時アクセス数を4から5に増強	守山
	4	土曜日開館開始(9:00~17:00)	守山
	6	学生用パソコン10台を設置するパソコン室の開設	長久手
	10	2階開架書架に外国語多読コーナーの開設	長久手
H23	3	本学所蔵の貴重書「古俳書」のデジタル化及びデジタルデータのWeb公開	長久手
	6	図書館ボランティア活動開始	長久手
	9	東日本大震災復興支援のための図書201冊を、窓口である岩手県看護短期大学へ送付	守山
	10	国立女性教育会館女性教育情報センターから図書100冊を借り受け、利用開始(～24年2月)	長久手
H24	1	Science Directの契約、利用開始	守山
	2	AVコーナー視聴覚機器の更新 液晶TVモニター、DVD・VHSテープデッキの更新、ブルーレイディスクプレイヤーの新規設置	守山
	3	貴重書庫の空調設備を更新	長久手
	3	Web公開中の貴重書のデジタルデータ「古俳書」にデータを追加	長久手
	3	書庫のサーキュレーター5台を更新	長久手
	3	書庫上層に5連固定書架を増設	長久手
	3	図書館会議室のプロジェクターを更新	長久手
	3	パソコン室に8台パソコンを追加	長久手
	6	非専門図書の長久手移管開始	守山

	月	内容	キャンパス名
H24	7	空調ダンパー調節切り替え	守山
	7	学会誌コーナー移動	守山
	12	館長室にスチール書架(単式3連×2箇所)設置	守山
	12	パソコン室に24台パソコンを追加し、「レポート・論文作成室」に改称	長久手
	12	開架閲覧室にパソコン優先席を10席設置	長久手
H25	3	屋外用ブックポスト設置	守山
	3	Web公開中の貴重書のデジタルデータ「古俳書」にデータを追加	長久手
	3	2階開架書架の多読コーナーを移設・拡大	長久手
	3	2階情報検索コーナー前に展示用書架を設置	長久手
	7	利用者用検索端末席の椅子9脚を更新 教育研究資器材整備費による	守山
	8	コンピュータ教室の椅子50脚の更新 教育研究資器材整備費による	守山
	8	個人閲覧室、グループ研究室ドアにガラス窓を新設 教育研究資器材整備費による	守山
	11	愛知県立大学学術リポジトリ構築完了 本稼働を開始	長久手
	11	マイクロフィルムリーダー(1台)に替え、デジタルフィルムスキャナー(1台)をマイクロ資料閲覧室に導入	長久手
H26	1	Tosho Ring(共同図書環)の貸出終了	長久手
	2	AVコーナー再生機器更新 (ブルーレイプレイヤー7台とマルチDVDプレイヤー4台を導入)	長久手
	4	共同図書環のブラウジングコーナーをリベラルアーツ・コーナーとしてリニューアル	長久手
	5	国立国会図書館レファレンス協同データベースへ参加	長久手
	7	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始	長久手
	9	Tosho Ringシステムからデータ(書誌、所蔵、書評の3種類)の抽出作業完了。共同図書環各連携校へ、抽出データ分配。愛知県立大学本館図書館システム(Limedio)へ、所蔵データ取込み	長久手
	10	共同図書環Tosho Ringサーバの安全停止。共同図書環事業で購入したサーバ、周辺機器、及びノートパソコンの処分	長久手
	11	書庫に、返本台(12台)を設置	長久手
H27	2	リベラルアーツコーナーに、1人用ソファ(9台)、3人用ソファ(2台)、テーブル(1台)を導入	長久手
	3	図書館システムの更新完了(更新時閉館期間 平成27年2月16日～3月6日)	長久手・守山
	3	図書館事務室内に、入試・広報室長室を移設。そのため、作業用書架(20連)の撤去、事務機の再配置を実施	長久手
	3	書庫(B1)の閲覧席エリアの天井に、LED照明設置	長久手

	月	内容	キャンパス名
H27	3	図書館2階、パソコン(レポート・論文作成)室に空調設備を追加	長久手
	4	ハーバード大学出版局電子ブック「アジア・コレクション100冊」を電子ブックとして初めて導入	長久手
	7	2階排煙窓が枠ゴムの劣化により開かない状態であったので、修理を実施	守山
	8	開架20年雑誌コーナー書架の書庫MBへの移設及びMB書架の増設完了	長久手
	9	開架20年雑誌の書庫MBへの移動作業完了	長久手
	10	開架20年雑誌コーナーの跡地にグループ学習コーナー開設	長久手
H28	2	1階・2階吹き抜け天井に設置してあるHIDランプ(高輝度放電ランプ)の点灯が不安定になっていたため、安定器を交換	守山
	2	グループ研究室Aの机入れ替え及びホワイトボード増設	長久手
	2	グループ学習コーナーに台形テーブル・いす・ホワイトボード増設	長久手
	3	図書館共有ファイルサーバ機器更新	長久手
	3	雑誌作業室に業務用端末1台、プリンタ1台を増設	長久手
	3	入館管理システムPC更新及び図書館システムとのデータ連動化	長久手
	3	館内貸出用プロジェクター1台、携帯型ロールスクリーン1台を導入	長久手
	5	2階パソコン室前に「レポート・論文作成本コーナー」開設	長久手
	7	空調補助のためサーキュレーターを1台設置	守山
	9	外国語多読コーナーを2階閲覧室から1階グループ学習コーナー前に移動	長久手
	10	グループ研究室Aに電子黒板を導入	長久手
	12	名古屋市図書館が開設した市内図書館横断検索「まるはち横断検索(仮称)」実証実験(3ヶ月の試行)に参加	守山
H29	1	展示図書をディスプレイするためのブックハング(展示架)を導入	守山
	2	グループ学習コーナーに電源増設	長久手
	2	1階の4人掛け閲覧机に衝立を4台設置	守山
	3	フレンズブースの機器入替、エアコン設置	長久手
	3	2階に3席あったAVブースのうち1席を1階に移設	守山
	6	名古屋市図書館が開設した市内図書館横断検索「まるはち横断検索」に参加	守山
	8	AVコーナー機器更新(アンプ更新、全席でブルーレイの視聴可、ブースにヘッドホン備付等)	長久手
	9	デモンストレーション用一体型パソコンの更新	長久手

	月	内容	キャンパス名
H29	10	図書館1階グループ学習コーナーにセンサー式人数カウンター設置	長久手
H30	1	パソコン等の利用のため1階閲覧席(窓側)に電源タップを4箇所設置	守山
	2	グループ研究室の机と椅子を更新	守山
	3	図書館内照明LED化	長久手
	3	グループ研究室Aの椅子を可動式に交換(16脚)	長久手
	3	1階サウンドマスキングシステム設置工事	長久手
	4	1階サウンドマスキングシステム運用開始	長久手
	8	2階踊り場に図書運搬用のカゴを設置	長久手
	10	1階グループ学習コーナーに椅子5脚追加	長久手
	11	図書館利用者アンケートの実施	守山
H31	2	パソコン室機器入れ替え	長久手
	2	図書館西側にロールスクリーン取付	守山
	2	貴重書を展示するアクリルケース購入	守山
	2	2階キャレルディスク15席に電源コンセント設置	守山
R1	9	認知症関連図書コーナー「オレンジ本棚」を設置	長久手
	12	開架書架の増設	守山
R2	2	図書館システム更新及び機器の入替え	長久手・守山
	3	図書館内照明LED化	守山
	5	全サッシ窓に網戸の取付	守山
	11	閲覧席付近(1階・2階)のスモーク実験調査	守山
	12	4人掛け閲覧机全て(13台)に木製衝立を設置	守山
	12	高性能サーキュレータ(10台)を設置	守山
R3	4	KinoDen(紀伊國屋書店学術電子図書館)の利用を開始	長久手・守山
	4	メディカルオンラインの電子書籍サービスを開始	守山
	6	スモーク実験調査(雨天時、窓開けが不十分なとき)	守山
	7	サッシ窓の修繕工事	守山
	8	図書館南側壁面の雨漏り修繕工事	守山
	8	天井吹き抜け部分耐震改修工事(R4.3まで)	長久手

	月	内容	キャンパス名
R3	10	サッシ窓の修繕工事	守山
R4	2	図書館ネットワーク工事	守山
	6	排煙窓の修繕工事	守山
	10	2階閲覧室に小学校～高校の教科書・指導書を集めた「教科書コーナー」を設置	長久手
	12	バリアフリー対策の一環として、教育研究資器材整備費により拡大読書器を購入（利用は5年度から）	長久手

7. 新型コロナウイルス感染症関連の動向

令和2年度(事業報告より再録)

年・月	長久手キャンパス図書館	守山キャンパス図書館	備考
R2・3	2日～ ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(5月31日まで)		
R2・4		11日～ ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館(5月31日まで)	10日～5月26日 ・緊急事態宣言(愛知県独自) 17日～5月14日 ・県下に政府の緊急事態宣言
R2・5	13日～ ・本年度卒論執筆予定の学部生及び大学院生を対象に図書等の郵送貸出開始		7日 ・前期開講
R2・6	1日～ ・本年度卒論執筆予定の学部生及び大学院生を対象に臨時カウンター開設(予約図書・雑誌の貸出、複写等サービスを限定、9:30～19:30開館) 25日～ ・本年度卒論執筆予定の学部生及び大学院生を対象に国立国会図書館デジタルコレクションの利用受付を開始 ・郵送貸出を全学年に対象拡大	1日～ 一部のサービス(貸出、複写、相互貸借)に限定して開館(9:30～18:00)	
R2・7	21日～ ・本学学部生及び大学院生を対象に利用人数・時間を制限した入館サービスを開始(事前申込制、1コマ60分10人まで) ・臨時カウンターで行っていたサービスの対象を本学学部生及び大学院生に拡大		
R2・8	31日 スモーク実験(1階閲覧席部分及び事務室)	3日 ・一部のサービスに、卒論等閲覧を追加 ・開館 9:30～17:00(短縮)	6日～24日 ・緊急事態宣言(愛知県独自)
R2・9	10日 スモーク実験(2階閲覧席部分)		
R2・10	1日～ ・入館サービスにおける利用人数・時間を緩和(1コマ90分20人まで) 30日～ ・入館は利用証認証による随時入館に緩和、閲覧席及びパソコン室の座席は全体の半数程度を利用可とし、カウンターでの申込制に	1日～ ・開館 9:30～19:00 10日～ ・土曜日開館を再開	1日 ・後期開講
R2・11		10日 ・スモーク実験調査(1階閲覧席、2階閲覧席)	
R2・12		12日～ ・土曜日開館を中止	11日～ ・本学の行動指針を「2(警戒)」から「3(高度警戒)」に引き上げ
R3・1			14日～2月28日 ・県下に政府の緊急事態宣言
R3・2			
R3・3			5日～ ・本学の行動指針を「3」から「2」に引き下げ

令和3年度(事業報告より再録)

年・月	長久手キャンパス図書館	守山キャンパス図書館	備考
R3・4	9日～ ・座席利用の制限緩和(席数を全体の3分の2まで使用可、利用を申込制から申告制に変更) 30日 ・キャンパス入構禁止に伴い臨時休館		9日 ・前期開講 20日～5月11日 ・県下に「まん延防止等重点措置」を適用 ・本学の行動指針「2(警戒)」を継続 29日～5月5日 ・学生のキャンパス入構禁止
R3・5			12日～6月20日 ・県下に政府の緊急事態宣言 ・本学の行動指針「3(高度警戒)」に引き上げ
R3・6		1日 ・スモーク実験調査(雨天時、窓開け不十分な時) 9日～ ・閲覧席利用再開(34席、申込制)	21日～ ・「まん延防止等重点措置」へ移行(～7月11日) ・本学の行動指針「2(警戒)」に引き下げ
R3・7	5日～ ・本年度卒論執筆予定の学部生及び大学院生を対象に書庫入庫を制限付きで再開		12日～8月7日 ・県独自の厳重警戒措置を実施
R3・8			8日～26日 ・県下に再び「まん延防止等重点措置」が適用 27日～9月12日 ・県下に緊急事態宣言発出 ・本学の行動指針「3(高度警戒)」に引き上げ
R3・9			13日～30日 ・緊急事態宣言延長
R3・10	20日～ ・AVコーナー制限付きで再開(5ブース、1人利用)		1日 ・後期開講 ・緊急事態宣言解除 ・本学の行動指針「2(警戒)」に引き下げ(以降継続中)
R3・11			
R3・12			
R4・1	4日～ ・グループ学習コーナーの一部座席をグループ学習席として利用を再開 ・書庫入庫利用を学部3年生以上に緩和 ・研究個室Aについて、大学院生及び教員を対象に利用再開		21日～3月21日 ・再度県下に「まん延防止等重点措置」が適用
R4・2			
R4・3	22日 ・未貸出図書の予約、郵送貸出サービスの受付終了 24日 ・申告制による座席利用を終了	24日 ・申込制による座席利用を終了	

令和4年度

年・月	長久手キャンパス図書館	守山キャンパス図書館	備考
R4・4	4日～ ・開館時間:9:15～19:30 ・閲覧席利用の申告制を終了(席数制限は継続) ・AVコーナー、コインロッカーの利用再開 ・グループ学習席の増設 ・書庫入庫の人数制限撤廃、入庫記録簿への記入終了	4日～ ・閲覧席の利用を申込制から自由利用に変更	8日 ・前期開講 ・本学の行動指針「2(警戒)」を継続
R4・5			
R4・6		29日 ・排煙窓の修繕工事	
R4・7	15日～ ・閲覧席を全席使用可に緩和		
R4・8			5日～ ・県下にBA.5対策強化宣言発出(9月30日まで)
R4・9			
R4・10	3日～ ・開館時間:9:00～19:30 ・学外者の来館利用再開 ・グループ研究室(A,B)の利用再開(定員の半数を上限として) ・研究個室(B,C)の利用再開		3日 ・後期開講 ・本学の行動指針「1(要注意)」に引き下げ
R4・11		2日～ ・学外者の来館利用再開 ・グループ研究室の利用再開	
R4・12	12日～ ・開館時間:9:00～20:30(2月2日まで)		
R5・1			
R5・2			
R5・3		24日 ・閲覧席の利用制限(座席の間引き)を終了	

※R5.4より本学の行動指針は「0(平常)」に引き下げられた